

城南小の特色ある活動

I タブレットパソコンの活用実践

城南小学校では、平成25年度～27年度まで前橋市教育委員会指定校として、タブレットのPCの活用授業実践に取り組み、市の先進校として市内学校に情報提供をしている。

【ICT機器の環境整備】

- 1) 各教室・理科室・体育館に無線LANアクセスポイントを設置
- 2) 教師用タブレットPC(デジタル教科書ソフト等インストール済み) 22台導入
- 3) 全教室に液晶プロジェクタ・実物投影機・マグネットスクリーン導入



【校内研修との関連】

- 1) タブレットPC活用における共通認識
 - ・タブレットパソコンは、タブレットPC活用が目的ではなく、「学習のねらいを達成するためのツールである。」という職員の共通認識
- 2) 校内研修と指定との関わり
 - ・英語教育強化拠点事業の指定を受け、研究主題を「進んでコミュニケーション活動を行う児童を育てる英語科・外国語活動の指導の工夫」とし、コミュニケーション能力を核として進め、タブレットPCを説明力向上のための「コミュニケーションツール」として活用し実践を重ねている。

II 英語科・外国語活動の先進的な取組

平成26年度より前橋市第一中学校・桃井小学校と共に、文部科学省英語教育強化拠点事業の指定を受け、英語・外国語活動の研究を進めている。(平成26年度～平成29年度)

すでに、5年生・6年生は英語科として、3年生・4年生は外国語活動として取り組んでいる。



【研究の内容】

- 1) モジュール学習(スマイルタイム)の設定 昼休み後の15分館実施
- 2) 3・4年生はALTと担任と英語特配、5・6年生は英語特配と担任のTTで行い、学級経営を活かした授業が展開できるように担任が主導する。
- 3) 英語は音声を聞いて発話する学習を繰り返し行うことが大切であるので、ICT機器を活用してねらいにそった教材をスマイルタイムでテンポ良く提示している。

III モジュール学習(短時間学習)の取組

28年度よりモジュール学習(本校ではスマイルタイム)を全学年で、英語教育や学力向上のために実施してきた。29年度は、スマイルタイムをより有効に活用するための工夫を加えた。

【低学年・中学年】

- 1) 国語の年間指導計画から言語関係を洗い出し、年計に位置づけた言語事項の取組をスマイルタイムで実施している。(月・火・木 15分×3=45分)
- 2) スマイルタイムで1時間カウントしているため、その1時間を1年生・2年生は通常授業からカットしている。3年生、4年生は、総合を年間70時間実施。
- 3) 外国語活動：水、学力向上(国・算)：金

【高学年】

- 1) 英語科の授業を実施。(月・火・木 15分×3=45分)
- 2) 総合を70時間実施。
- 3) 学力向上(国・算)：水・金

